



春先は風の強い日が多く、火災が発生しやすい時季です。消防署では、住民の皆さんに更なる防災意識を高めていただくため、火災予防運動期間中、火災予防キャンペーンを実施しました。火災の発生を防止し、万一発生しても、尊い生命と貴重な財産を守る事が目的です。住宅用火災警報器の設置推進と不道徳販売への注意、老朽化した消火器の破裂事故への注意のほか、放火による被害の防止策をお知らせしました。

また、大型店舗などを対象にした特別査察の実施や、家庭内の防火対策の普及を目的に、消防職員・消防団員が一般の御家庭を訪問し、防火診断を実施しました。

**春の火災予防運動を
実施しました
(3月1日～7日)**

放火による被害を防ぐために

- ゴミや古新聞を屋外に放置しない
- ゴミは決められた時間帯に出す
- 死角を作らない
- 玄関先を明るくし、門扉や物置には鍵を
- 敷地内に人感センサーの設置や、音の出る砂利を敷く等、不審者の進入を防ぐ
- 車や自転車等のカバーシートは、防災品を



火災予防キャンペーンでの初期消火体験。



園児が「防火」のはっぴを着て通園し、火災予防をPR。

最新型車両を導入し、消防力の強化をはかりました

高規格救急自動車
中央消防署大井分署



救急救命士による高度な処置が行える高度救命処置用資機材を積載しています。

15m級はしご付消防ポンプ自動車
中央消防署三芳分署



主に高さ10メートルを超えるような3階から5階建ての中高層建物火災などに対応し、迅速・有効に消火救出活動が可能です。

水槽付消防ポンプ自動車
中央消防署大井分署



従来型よりも収納スペースを大きくとり、小回りがきく設計になっています。水槽には1,500リットルの消火用水を積載しています。

消防訓練場 案内図



問い合わせ 消防本部総務課
26116004

見学は自由です。臨時駐車場として富士見市民文化会館 キヤリふじみの駐車場をご用意しましたが、数に限りがございますので、自動車でのお越しはなるべく遠慮くださいますようお願いいたします。住民の皆さんからの応援をお待ちしております。

5月18日(水)午前9時から、富士見市にある消防訓練場で、当消防組合ほか、近隣10消防本部の参加により、救助技術の正確さ・迅速さを競う「消防救助技術指導会」を開催します。

富士見市には自由です。臨時駐車場として富士見市民文化会館 キヤリふじみの駐車場をご用意しましたが、数に限りがございますので、自動車でのお越しはなるべく遠慮くださいますようお願いいたします。住民の皆さんからの応援をお待ちしております。

**埼玉県第2ブロック
「消防救助技術指導会」
を開催します。**

広報 みんなの消防



副管理者 林 伊佐雄
(三芳町長)



副管理者 星野 信吾
(富士見市長)



管理者 高畑 博
(ふじみ野市長)

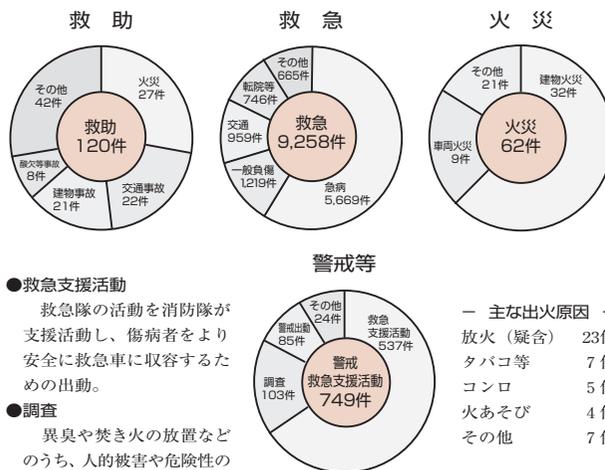
管理者就任あいさつ

日ごろから、消防行政の推進に深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。この度、入間東部地区消防組合管理者に就任いたしました。今後とも、星野信吾副管理者、1月より就任しました林伊佐雄副管理者と共に、消防行政推進のため、全力を傾注していく所存です。25万人をこえる入間東部地区の皆様のご期待に応えるため、組合設立40周年という新たなスタート台に立った事を契機として、更に社会情勢の変化に対応した消防力の充実強化を図ってまいります。これからも温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

火災・救急・救助等の出動状況

平成22年中(1月～12月)

住宅火災の多くは、火の取り扱いの不注意が原因です。昨年の富士見市・ふじみ野市・三芳町での火災の件数は62件です。平成21年比べて15件増加しています。4名の尊い命と、多くの財産が失われています。救急車の出動件数は9千258件で、平成21年に比べ933件増加しました。主な要因として、高齢者の傷病者や、熱中症傷病者の増加によるものが考えられます。医療機関に搬送されたうち、約半数が軽症と診断されました。救急車の適正な利用をお願いします。



- 救急支援活動
救急隊の活動を消防隊が支援活動し、傷病者をより安全に救急車に収容するための出動。
- 調査
異臭や焚き火の放置などのうち、人的被害や危険性の少なかった物に対する出動。
- 警戒出動
ガソリンの流出など、危険物除去や、ガス漏れによる報知器の鳴動による出動。

2月22日付けて、富士見市吉田和江議員が選出されました。

消防組合議会議員の紹介



被災地へ出発する2次隊員にむけた消防長による訓辞

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の被災地にむけ、埼玉県緊急消防援助隊が同日出動しました。当消防組合も緊急援助隊に登録しており、第1次隊として水槽付き消防ポンプ自動車などの車両と、人命救助や消化部隊として、11名の隊員を派遣しました。

被災地に職員を緊急派遣